

議決結果(議案、陳情)、意見書、会議の開催状況

第3回臨時会・第3回定例会 議案の議決結果一覧

Table with columns for Party (会派), Item Name (件名), and Decision Result (結果). Includes items like '和解について' and '一般会計予算'.

※第3回臨時会では、西東京自由民主党と無所属・市民会議は1会派(西東京自由民主党・無所属) ※無所属・市民の目は、第3回臨時会を欠席

陳情の結果( )は付託委員会

採択されたもの

- 西東京市在住の私立小中学校就学者に対する教育費助成についての陳情
細菌性髄膜炎ワクチン(ヒブワクチン)の助成を求める陳情
親子3人乗りの自転車のリースを求める陳情
不採択となったもの
冷房室内温度を28度に設定クールビズでの執務を促すことを求める陳情
西東京市議会傍聴規則の改正を求める陳情
西東京市議会議員の資産・所得等の公開条例の制定を求める陳情
公園の使い方に関する陳情
本会議の傍聴に関する陳情
議会改革に関する陳情

お知らせ

駅周辺再開発等特別委員の就退任

(平成21年9月1日付)

退任 稲垣 裕二
就任 小峰 和美
会派の変更等(平成21年7月16日付)
小峰 和美議員は「西東京自由民主党・無所属」から無所属(無所属・市民会議)となりました。
「西東京自由民主党・無所属」は「西東京自由民主党」となりました。
第4回定例会は12月4日から
市議会第4回定例会は、12月4日(金)から開催する予定です。詳細については、定例会前に開催される議会運営委員会決定されますので、決定し次第ホームページに掲載します。
請願・陳情は11月27日までにご提出ください
請願・陳情はいつでも受け付けていますが、第4回定例会で審査を行うためには11月27日(金)までにご提出いただく必要があります。
詳細については、議会事務局までお問い合わせください。

市議会だよりに掲載する写真を募集しています。

未発表・未公開のオリジナル作品であれば、内容、テーマは問いません。住所、氏名、電話番号、撮影場所・年月日、作品名及びその説明を別紙に添えて下記へお送りください。たくさんのご応募をお待ちしています。

第41号の締切 平成22年1月12日(火)
送付・問い合わせ先
〒188-8666(住所記載不要) 西東京市議会事務局庶務調査係
電話 042-460-9860 E-mail gikai@city.nishitokyo.lg.jp

定例会で可決した意見書

ヒブワクチンの早期定期予防接種化を求める意見書
5歳までの乳幼児で細菌性髄膜炎の罹患者は、全国で年間1千人以上に上っていると言われている。このうち、約6割がインフルエンザ菌b型(ヒブ)によるもの、約3割が肺炎球菌によるものとされ、この2つの原因菌によるものが全体の約9割を占めている。

抗菌薬(抗生物質)による治療にもかかわらず、約5%が死亡し、約15%から20%に後遺症が残っている。近年では、抗菌薬に対するヒブの耐性が急速に進展しており、ヒブ感染症がさらに難治化する傾向にある。また、ヒブは飛沫感染により伝播することから、早期保育など乳幼児における集団生活の機会増加により、乳幼児がヒブ感染症に遭遇する危険性はさらに高くなることも予想されている。
ヒブによる細菌性髄膜炎はワクチン接種により予防することが可能である。1987年より接種が進められたアメリカでは、1994年には髄膜炎の発症率が10分の1に激減したとされている。1998年にWHOも世界のすべての国に対して、乳幼児へのヒブワクチンを定期接種に組み込むことを奨励している。定期予防接種化した国々では発症率が大幅に減少している。
日本においては、2008年12月にヒブワクチンが発売されたが、任意接種のため1回8千円、最大4回で3万2千円の自己負担となっている。子育て世代にとっては重い負担と言わざるを得ない。
よって西東京市議会は、政府及び国会に対し、ヒブワクチンの早期定期予防接種化を強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
【提出先】内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長
地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書
【提出先】内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣
返済不要の「給付制奨学金制度」の創設を求める意見書
【提出先】内閣総理大臣、文部科学大臣、衆議院議長、参議院議長

会議の開催状況(平成21年7月~9月)

Calendar table showing meeting dates and topics from July to September, including '臨時会再開発等特別委員会' and '第3回臨時会'.

編集後記

先日、初めてハンドベルを体験した。私に割り当てられたのは、わずかに2本のベル。自分の番でベルを鳴らすだけなのに、これが難しい。タイミングが合わなければメロディは成立しない、実にチームワークが求められる楽器である。しかし、成功した時の感動とハンドベル独特の美しい音色は、演奏するほどよりこになる。
季節は芸術の秋からハンドベル本番の冬。この冬、芸術のまち西東京のどこかでハンドベルの音色を奏でているかも。(S)